京都大学

オンラインセミナー

京大リベラルアーツ教室

京町家編

1
2023年2月7日(火)18:00〜19:30

京町家とはなにか・京都の人も知らない京町家の世界

大場 修
立命館大学 衣笠総合研究機構 教授

2
2023年2月14日(火)18:00〜19:30

京町家を劣化から護る

藤井 義久
京都大学大学院 農学研究科 教授

3
2023年2月21日(火)18:00〜19:30

路地に見る京町家のまちなみとその保全・継承

森重 幸子
京都美術工芸大学 建築学部 教授

4
2023年2月28日(火)18:00〜19:30

京町家が育むコミュニティとまちづくり

前田 昌弘
京都大学大学院 人間・環境学研究科 准教授

京都大学は全学を通して幅広い分野で非常に長い歴史と顕著な研究成果を挙げています。
「京大リベラルアーツ教室」は、一つのテーマに関して文理融合の視点で、誰もが京都大学をはじめとする大学・研究の知見に触れることのできる講座です。京大の最先端の研究の成果と知見に深い興味をお持ちの方や学び直したいとお考えの方、自らの進路の参考にしたいという大学生や高校生の方に、お届けしようとするものです。

申込方法	ホームページよりお申し込みください https://www.kyodai-original.co.jp/open-academy/program/?no=70
受講料	各回：1,500円(税込)／全4回(一括)：5,400円(税込)
対象	"京町家"に関連する研究・歴史・文化に興味のある方、社会人・学生問わずどなたでも参加可能
申込締切日	各回、開催日の前日 ※申込締切日を過ぎてのお申込みについては、見逃し録画配信のみご視聴いただけます。
主催	京大オリジナル株式会社
共催	京都大学産官学連携本部
問合先	京大オリジナル株式会社 プロジェクトマネジメント部 【mail】kensyu@kyodai-original.co.jp

京大リベラルアーツ教室 オンライン(Zoom)開催

- パソコンなどの端末、ネット環境が必要です。
- クレジットカードで決済いただいた方には、視聴方法について開催前日までに申込時のご登録アドレスにご連絡いたします。kensyu@kyodai-original.co.jp からのメールを受信できるように設定してください。
- ライブ配信後、後日、オンラインサイト上で録画配信します。(2023年3月31日まで視聴可能)
- 申込締切日以降のお申込は、録画配信をご視聴いただけます。(2023年3月17日まで申込可)
- お支払いはクレジットカードのみとなります。その他のお支払い方法は承っておりませんので、ご了承ください。

多様な視点から見つめる歴史的建物の魅力再発見

京都には、「京町家」と呼ばれる歴史的な建物が数多く存在します。その数は4万棟を超えると言われ、京都らしい町並みには欠かせないものです。そんな町並みの保全に向け、市や地域の不動産、工務店等が、京町家を生かし残すためにあらゆる取り組みを行っていることを、皆様はご存じでしょうか。
今回は、京都大学の教員を始め、京町家に様々な角度から携わっているアカデミアの先生方に、それぞれのご専門からお話をいただきます。京町家に暮らす人、建っている場所、その近くには何があるのか、町屋は何でできているのか、どんな課題があるのか…京町家を取り巻く様々な環境・状況について、専門的な知見を得ることで、今までと違う魅力を再発見できるかもしれません。

1 2023年2月7日(火) 18:00～19:30

京町家とはなにか・京都の人も知らない京町家の世界

「京町家」と聞けば、京都の雅な印象とともに格子戸や坪庭などを連想する方が多いと思います。しかし、京都市中に4万棟ほど残る京町家の実像は実に多様で、ステレオタイプな京町家のイメージ以上に都市住宅としての魅力にあふれています。この講義では、京町家の歴史、その形の多様性、さらには日本の中で京町家の果たした役割なども含めてお話しします。

大場 修
立命館大学 衣笠総合研究機構 教授
専門 / 日本建築史

2 2023年2月14日(火) 18:00～19:30

京町家を劣化から護る

日本人は古来身近な自然から生活に必要なものを調達してきた。森林からは、きれいな空気や水、食料、薬、燃料そして住宅や家具に使う木材を得てきた。木材は軽い割に強く、断熱性、音響性、吸放湿性や材質感に優れた材料である。しかし木材や木造にもヤケ(燃える)、コケ(地震で倒れる)、クサレ(蟻害や腐朽などの劣化)という弱点もある。京町家に使われる木材について、その材質、劣化特性や対策を解説する。

藤井 義久
京都大学大学院 農学研究科 教授
専門 / 木質科学

3 2023年2月21日(火) 18:00～19:30

路地に見る京町家のまちなみとその保全・継承

京町家と切っても切れない関係にあるものとして、路地があります。「辻子」や「ろーじ」と呼ばれてきたものを含みます。路地は、町家とともに、歴史的なまちの特徴的な存在です。一方で、建築基準法では建築物の敷地に幅4m以上の道に接することを求めており、路地沿いでの建築行為には制限があります。京町家と路地の関係、および近年の路地再生の取組について紹介します。

森重 幸子
京都美術工芸大学 建築学部 教授
専門 / 建築計画・住宅計画・地域計画

4 2023年2月28日(火) 18:00～19:30

京町家が育むコミュニティとまちづくり

京町家は単体としてだけでなく連担・集合することで町内(両側町)、さらには元学区というコミュニティを形成し、都市の生活文化を培養してきた。京町家が育むコミュニティにはどのような特徴があるか、また、地蔵盆などの儀礼は人びとのつながりをどのように縫合してきたか、そして現代のまちづくりはどのような課題に直面しているか等について概観するとともに、京町家と人びとの関わりを見つめ直したい。

前田 昌弘
京都大学大学院 人間・環境学研究科
准教授
専門 / 建築学・まちづくり